

人口減少問題を考える会第1回 7月21日(木)

ふれあいセンター2階第3会議室 13:30 ~ 16:30

人口減少問題に歯止めをかけるための対策を考える。2年目に入りメンバー構成を一新。各課より、20代から40代の子育て世代や未婚の方が中心に。

議論する内容は、昨年同様、自然増を促す施策として人口増加施策や人口減少を食い止める施策について、一人ひとりから3つ支援策を持ち寄り話し合った。



「人口減少問題を考える会」メンバー

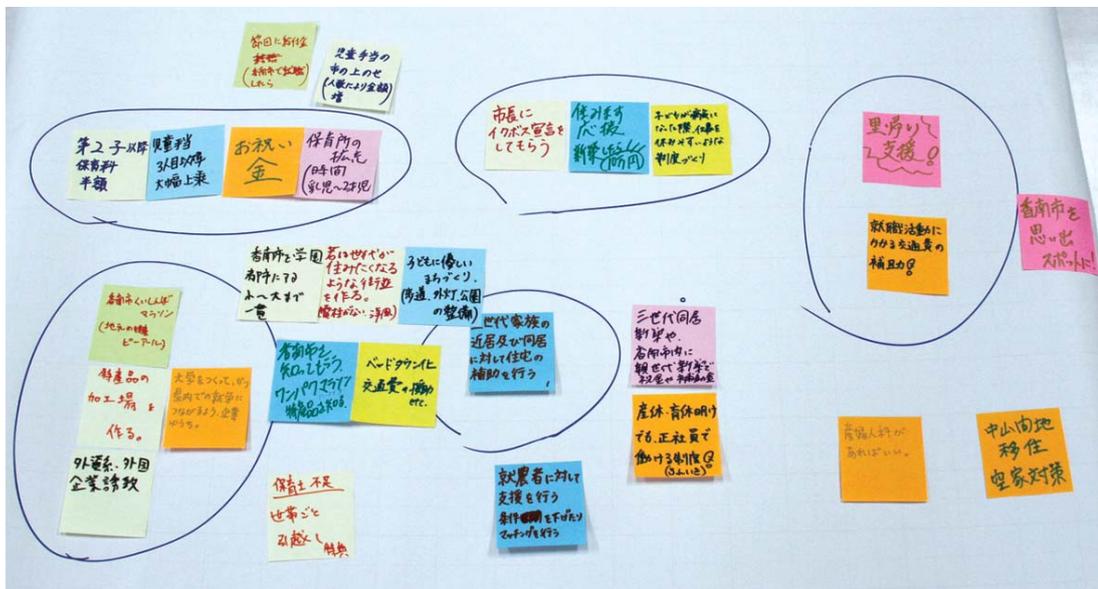
- ①こども課 北川翔太
- ②学校教育課 山内みどり
- ③生涯学習課 林 貴文
- ④健康対策課 松田真弓子
- ⑤市民保険課 佐古翔子
- ⑥福祉事務所 宇田道太郎
- ⑦高齢者介護課 竹下洋隆
- ⑧商工水産課 山下 剛
- ⑨環境対策課 廣田祐有樹
- ⑩人権課 吉田沙栄
- ⑪農業委員会 高橋優子
- ⑫企画財政課 浜田悦秀
- ⑬地域支援課 光明院課長
- ⑭地域支援課 近藤 誠
- ⑮地域支援課 本田知花



司会…光明院地域支援課長 事務局…近藤



第1回目 の案 あれこれ



子育て

- 産婦人科が少ない
- 市長にイクボス宣言をしてもらう
- 子どもに優しいまちづくり (歩道、外灯、公園の整備)
- 第2子以降保育料半額
- お祝い金
- 児童手当 3人目以降大幅上乘せ
- 児童手当の上乗せ、人数により金額増。
- 保育所の拡充・時間・乳児から2歳児

仕事

- 就職活動にかかる交通費の補助
- 子どもが病気になった際、仕事を休みやすいような制度
- 産休、育休明けでも正社員で働ける制度 (雰囲気)
- 就農者に対して支援を行う。条件を下げたりマッチングを行う
- 外資系・外国企業誘致

教育

- 香南市を学園都市にする
- 大学をつくって、かつ、県内で就労につながるよう企業誘致
- 節目事に給付金、香南市で就職したら

特産品

- くいしんぼうマラソンの開催で地元特産品や市をPR
- 特産品の加工場をつくる

住まい

- 里帰り支援
- 住みます応援。新築したら10万円助成
- 三世代同居 香南市内に親世代新築で祝い金や補助金
- 3世代家族の近居及び同居に対して住宅の補助を行う
- ベッドタウン化 交通費の援助 etc...

その他

- 香南市を思い出のスポットに
- 若い世代が住みたくするような町並み (電柱がない。洋風)

第1に これを実行したい

住まい

- ・香南市内で二世帯住居に対して何らかの補助を。
近すぎず離れすぎずの距離がいい
- ・3世代が市内で新築すると補助 or 祝い金（同居新築も可）
- ・3世代香南市に新築補助
- ・3世代が同居しなくても香南市に住むことへの支援補助
- ・3世代の同居もしくは近居の支援

子育て

- ・市長にイクボス宣言をしてもらう
- ・子ども支援、経済対策
- ・児童手当、3人目以降大幅上乘せ
- ・児童手当上乘せ（3人目以降）
- ・第3子の祝い金

特産品

- ・食べ物を知ってもらう
- ・加工場をつくり香南市を知ってもらう

その他

- ・自給自足応援！
田舎の畑を市が無償で貸します

第2に これを実行したい

仕事

- ・時短勤務のモデル企業を！（子育て応援）
- ・産休明けの勤務。時短を企業に実施してもらい広めていく
- ・第一次産業、新規者補助金
- ・転勤のない企業を誘致
- ・若年女性の働き場確保（企業誘致 etc.）
- ・移住対策空き家＋農＋雇用

子育て

- ・産めば産むほど得する施策

教育

- ・通学応援。高校へ通う定期代補助がほしい。
香南の学生みんな学割。年3万円支給

その他

- ・公園や道などの整備

住まい

- ・賃貸住宅を借りている若者に家賃補助1万円
- ・3世代同居世代への助成

特産品

- ・香南市くいしんぼうマラソン
（地産外商に繋がる一次産業活性化）
- ・食品加工場

第3に これを実行したい

仕事

- ・空き家提供（個人 or 企業）
- ・起業する人を応援。＝住みます応援
- ・働く場の確保。雇用の確保
- ・中小企業のアピール、苦手な部分をサポート

移住

- ・移住者を定住者へ！
サポートを充実させる
- ・移住者へのサポート
- ・移住者を定住させるため補助や
施策の充実

出合い

- ・出合いの場の提供
- ・出合い、結婚、出産（セットで）
- ・道路、街灯、歩道、公園、整備

教育

- ・大学までも一貫教育で定住促進
- ・香南市で働いて居住している間の奨学金免除

住まい

- ・宅地開発、おしゃれな町並みへ

特産品

- ・香南市の良質なブランド化